

【大曲中学校区 めざす子ども像】

豊かな心で 元気なあいさつ

自ら考え 進んで学ぶ

大志をいだき
未来をひらく
大曲の子ども



大曲中学校

大曲中学校区

家庭学習の手引き



大曲小学校



大曲東小学校

北広島市では学校教育の重点として、

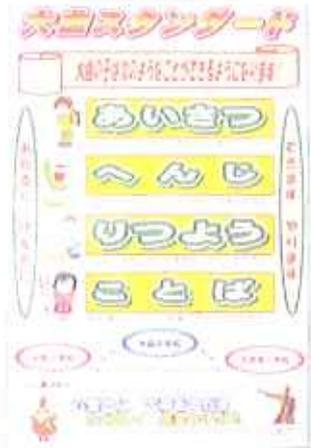
義務教育9年間を通して「生きる力」を育む **小中一貫教育**の推進

を掲げ、小中の系統性を明確にした教育の推進に努めています。

【形成期】 小学1年～小学4年

【充実期】 小学5年～中学1年

【成熟期】 中学2年～中学3年



なぜ 学ぶの？

「なぜ、勉強しなきゃいけないの？」
…と子どもに問われること、ありませんか？

「大人になったら、困らないようにだよ」
「自分の可能性を広げるためだよ」
「将来の選択肢を増やすためだよ」
「たくさんを知っていれば、楽しいことが増えるんだよ」

答え方はさまざまですが、どんな答えであっても共通していること
あります。
それは、『**学びは、その子の生き方(生きる力)につながる**』ということです。

子どもたちは「豊かに生きる」ために学びます。
子どもたちは、学ぶことを通して「自立」していきます。
自立するために学び続けることにより、「自律する心」をはぐくむこと
もできるといわれます。

家庭学習 5つのポイント

1. 基本は『生活習慣』

早寝・早起き・朝ごはん。
テレビやゲーム、スマホは、時間とルールをきめて…。

2. 学習の時間(時刻)を決めて

毎日の取り組む時間を決める事が習慣化への第一歩。

3. 集中できる環境で

テレビや音楽を消して。きれいな机の上で。正しい姿勢で。
しっかり削った鉛筆を正しく持って。

4. 必要な学習内容を見極めて

5年生以上は、自分で取り組むべき内容を考え、計画的に取り組むことが
できるように。

5. 毎日の積み重ねを自信に

大人から認め、励まされることが子どもの自信へとつながります。

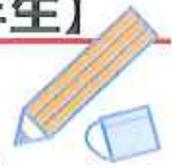


この冊子は「家庭学習」や「学び方」に関する3校の基本的な【おさえ】をまとめたものです。

形成期

【小学1年生～小学4年生】

- 毎日、学習しよう。
- 自分からすすんで机に向かおう。



【家庭学習時間の目安】

1～2年生 20～30分

3～4年生 40～50分

【1～2年生】

- 一人で学習内容を決めることは、まだまだ難しい年齢です。家族の手助けが欠かせません。

【3～4年生】

- 「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子が出てきます。自信を持たせたり、意欲を膨らませたりするような励ましが大切です。

1～2年生		3～4年生
<p>《1年生》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆を正しく持って字を書く。 ・ひらがな、カタカナを読む。書く。 ・助詞「てにをは」を使い分けて文章を書く。 ・配当漢字（80字）を読む。書く。 ・たし算やひき算を正確にする。 ・時計を見て、何時何分かを読む。 ・学校の周りの様子がわかる。 <p>《2年生》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配当漢字（160字）を読む。書く。 ・順序よく話したり、書いたりする。 ・九九をすらすら言う。 ・たし算やひき算をはやく正確にする。 ・時計を見て、何時何分かを読む。 時刻と時間を区別する。 ・地域の様子がわかる。 	<p>身につけた力・基礎基本</p> <p>抜粋</p>	<p>《3年生》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配当漢字（200字）を読む。書く。 ・主語と述語の意味がわかり、文章を書く。 ・国語辞典を使う。 ・かけ算やわり算などを正しい手順で計算する。 ・はかりを使って重さを読む。 ・長い長さの単位がわかり、使う。 <p>《4年生》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配当漢字（200字）を読む。書く。 ・指示語や接続語がわかり、使う。 ・国語辞典や漢字辞典を使う。 ・わり算を筆算で解く。 ・コンパスや分度器を正しく使う。 ・地図を使う。47都道府県名や位置がわかる。
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の音読 ・漢字練習 ・日記（楽しかったこと、本を読んで知ったこと） （まらの中で発見したこと、不思議に思ったこと） ・読書 ・動植物の観察 ・なわとびの練習 ・学習した内容の感想文（思ったこと・考えたこと） 	<p>家庭学習の例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の音読 ・漢字練習 ・意味調べ(辞典) ・漢字の成り立ち調べ ・日記（楽しかったこと、本を読んで知ったこと、まらの中で発見したこと、不思議に思ったこと） ・ローマ字練習 ・計算練習 ・動植物の観察 ・北広島市調べ ・北海道調べ（地名や特長） ・都道府県調べ（地名や特長） ・読書 ・図鑑を使っての調べ学習 ・なわとびの練習 ・リコーダー練習 ・ことわざ調べ ・学校での学習のポイントをまとめ直す(抜粋) ・翌日の学習準備(7割)

【小学5年生～中学1年生】

充実期

- 自分で計画を立て、学習をすすめよう。
- 自分に必要な学習を見極めよう。
- 基礎・基本的な力を身につけるため、「計画的・継続的」な学習に取り組もう。



【家庭学習時間の目安】

60～70分

○得意な教科・苦手な教科を強く意識するようになります。自分が取り組まなければならない学習を見極めることが大切です。

○意欲や興味関心をたかめるために、大人からの言葉かけが必要です。努力できるよう、温かく見守りながら励ましましょう。

○その日の復習、明日の予習、テスト前の事前対策…「計画的・継続的」に取り組むことが大切です。

5年生～中学1年生

身につけたい力・基礎基本

《5年》

- ・配当漢字（185字）を読む。書く。 ・理由や根拠をはっきりとさせ、文章を書く。
- ・分数や小数のかけ算、わり算、四則計算を正しく解く。 ・割合や百分率を使った問題を解く。
- ・必要な情報を選び、要約する。

《6年》

- ・配当漢字（181字）を読む。書く。 ・理由や根拠をはっきりとさせ、文章を書く。
- ・整数、分数、小数の四則計算を解く。 ・歴史上の人物や出来事について、おおまかわかる。
- ・政治のしくみがわかる。 ・世界の主な国名や位置がわかる。 ・必要な情報を選び、要約する。

《中学1年》

(国)・部首を覚える ・対義語、類義語、四字熟語 ・主語、述語、修飾語、独立語、接続語など文の成分の整理

(社)・地図を覚える ・人物、地名、出来事を正しく漢字で書ける

(数)・負の数を含めた四則計算。 ・文字を使って数量を表す。 ・1次方程式の計算
・平面、空間図形の公式 ・作図

(理)・植物のからだのつくりと生きるためのしくみがわかる。

抜粋

・火山のでき方・地震が起こるしくみ・地層の読みとり方がわかる。

・身のまわりにある物質の種類と性質がわかる。 ・光、音、力のはたらきや性質がわかる

・顕微鏡やガスバーナーなど、実験機器の操作方法。 ・分数・少数のかけ算・わり算

(英)・アルファベットを正しく書く。 ・自分のことや身近な人のことを英語で表現する。

家庭学習の例

《5・6年》

- ・教科書の音読 ・漢字練習 ・熟語意味調べ（辞典） ・漢字の成り立ち調べ ・日記
- ・読書 → 要約 ・ことわざ、慣用句調べ ・四字熟語調べ ・計算練習 ・動植物の観察
- ・歴史上の人物調べ ・歴史上の出来事調べ ・世界の国調べ ・図鑑を使ったの調べ学習
- ・新聞の活用（読む、写す、要約する） ・授業感想文（思ったこと・考えたこと・わかったこと）
- ・学校での学習のポイントをまとめ直す（備） ・翌日の学習準備（予）

※中学校分はまとめて、次ページに掲載

【中学2年生～中学3年生】

成熟期

- 進路の目標を明確にして取り組ませるために、将来についてしっかりと話し合しましょう。
- 学習時間の確保のために、安定した生活リズムを。
- 「復習」と「新しい学習」とをバランスよく。

○進路の目標がはっきりしないと具体的な計画は立てられません。現在の生徒の力を考え、何を努力するべきかを明確にすることが大切です。そのためにも、家庭でしっかりと将来について話し合しましょう。

○毎日安定して学習時間を確保するためには、決まった時刻に起床・食事・就寝ができるようにすることが大切です。生活のリズムを整えるために、家庭でも支援助していきましょう。

【家庭学習時間の目安】

中学2年生 90分
中学3年生 120分

中学2～3年生

身につけたい力・基礎基本

抜粋

- (国)・同音異義語・同訓異字。 ・自立語の活用。 ・品詞の分類。
・教科書に載っている和歌は、全て暗記。 ・漢詩は律詩と絶句の二つを覚える。
- (社)・時代の移り変わり、人物名、出来事の名前（徳川の江戸、日本が大きく変わった明治、世界を相手の戦争で苦しむ、大正・昭和） ・土地の条件によって様々な地域差が生じること理由と共に覚える。
- (数)・文字の計算 ・多項式同士の計算 ・連立方程式（加減法・代入法）の計算
・1次関数（式・対応表・グラフ）の作り方 ・図形の定理 ・合同条件 ・確率の計算
・展開、因数分解の公式 ・2次方程式の解き方（解の公式） ・相似条件
・2次関数（式・対応表・グラフ）の作り方 ・三平方の定理
- (理)・動物が生きるためのしくみ ・生物がなかまをふやすしくみ ・天気の変化するしくみ
・宇宙のつくり ・太陽・星・惑星の見え方 ・自然環境の保全
・化学変化の種類としくみ ・イオンの正体 ・電流の正体と流れ方
・電流と磁石の利用
- (英)・自分の考えを英語で表現できる。



家庭学習の例

《中学生》

- (国)・万葉集（枕詞・掛詞などの修辞、体言止め・係り言葉などの表現技法）
・漢文（返り点の使い方）・漢詩（律詩と絶句）等に取り組む
- (社)・経済の成り立ちを整理する（政府・家計・企業）・需要と供給について理解する。
三原則、三権分立の整理など
- (数)・公式を覚える ・計算練習（数式・図形） ・文章題（文章を読んで問題を解く練習）
- (理)・理科学語の理解と暗記（ノートを書き写す） ・問題演習（ワークを解く）
・資料からの情報収集（TV番組、本など） ・理科学語の理解と暗記（ノートを書き写す）
・問題演習（ワークを解く） ※3年生は、入試レベルの問題に取り組む。
・資料からの情報収集（TV番組、本など）
- (英)・教科書の音読（英語） ・習った単語の練習（英語） ・ワークでの復習

学ぶ意義(学習内容) と 家庭学習

大曲中学校の先生方から

国語

文章を読む・書くはもちろん、相手の話や意見を正確に聞き取ることや、自分の考えや意見を相手にわかりやすく伝えることは、私たちの生活の中で大変重要なことです。

また、日本古来から受け継いでいる日本語を知り、使いこなす力をつけることは、私たちの生活をより豊かで味わいのあるものにしてくれます。

国語科では、これから生きていく上で、大切な基本的事項を身につけるとともに、確かな人間関係を築き、コミュニケーション能力を養う学習をしていきます。



【日常の家庭学習として】

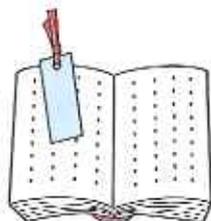
- ・明日学習する教科書の部分をよく読みましょう。音読が効果的です。
- ・わからない語句は辞書を引いて調べる習慣をつけましょう。
- ・「漢字学習プリント」のやり残しを学習したり、もう一度ノートに書き取ったりするなどの取組をしましょう。
- ・ワークで予習・復習をしましょう。

【定期テスト対策の家庭学習として】

- ・テスト範囲の教科書をもう一度じっくり読みましょう。
- ・授業ノートをよく見直し、ポイントをもう一度書き取るなどの工夫をしましょう。プリントの見直しも大切です。
- ・テスト対策として、ワーク学習はかなり有効です。すでに学習している部分でも、もう一度じっくり取り組みましょう。

【その他】

- ・普段の生活の中で新聞を読んだり、ニュースを聞いたりしましょう。世の中の動きがわかるだけでなく、語句や言葉の使い方も学習できます。
- ・読書をしましょう。いろいろな本を読んで、感動する心を養い、知識を増やしましょう。



社会

中学校の社会科学習は、その内容によって、地理的分野・歴史的分野・公民的分野の3つの領域に分かれています。大曲中学校では、1年生と2年生で地理的分野と歴史的分野、3年生で歴史的分野と公民的分野の学習をします。

社会科の各領域の授業に参加し、広い視野に立って、社会に対する関心を高めたり、資料に基づいていろいろな視点で物事を考えたりすることで、日本の国土や歴史に対する理解をいっそう深め、国際社会に生きる平和で民主的な国や社会を担う一人として、人と人とを結ぶための力の基礎を養うことができます。



【地理】

- ・地理の勉強は地図を中心に考えて下さい。
世界の国、日本の都道府県、各市町村、川や山脈、平野など地図の中で位置がわかることが大切です。
- ・地理では地域の様子やその変化について学習します。そのため統計（表やグラフ）や資料を読み取ることができるようにすることが重要です。
- ・テストの前には略地図を自分で大きくかいて、そこに重要なことを書き込み、都市名や産業などがどのあたり（位置）かをつかむ作業を行って下さい。

【歴史】

- ・歴史はおおまかな時代の流れをつかむことに重点をおいて下さい。
- ・年号と歴史的な出来事をあわせて覚えることと同時に、歴史では「因果関係」（原因と結果）を理解することが一番大切です。年号は歴史の出来事の順番を覚えておく一つの方法だと考えてください。
- ・歴史の勉強をするときは教科書・資料集に出ている資料・さし絵（人物の写真、芸術作品、各時代の農業・商工業の様子、生活の様子など）もよく確認して下さい。
- ・テストの前にはテスト範囲の年表を作って、それを横に置いて流れを理解したり、覚える参考として下さい。

【公民】

- ・公民は、いま現在の政治・経済・社会の仕組みについての学習です。
- ・教科書に出てくる基本的なことから、ほとんどが普段のニュースの中にも出てくる内容です。そのため、公民の学習においては、毎日のニュースをテレビや新聞でつかみ、興味を持つことが何より重要です。
- ・また、基本的人権の確立や国会、裁判の仕組みなどは、人類の歴史の歩みの結果として現在に至っています。つまり歴史の学習内容と密接に結びついているので、歴史の復習もあわせて行うことで理解を深めることができます。
- ・テストの前には、重要な用語、その内容をもう一度まとめ直し正確に覚えましょう。



数学

なぜ数学を勉強するのか？

もちろん高校入試の科目には『数学』がありますから、「受験のため」であることも事実です。しかし最も大切なことは、『筋道を立てて、正しく考える力を身につけるため』『ものごとを単純にして能率の良い方法を見つける力をつけるため』なのです。

例えば、 $5 + 2 + 3 + 8 + 2 = 20$ という計算ですが、この計算にはどんなやり方があるでしょうか？いくつかの方法がありますね。たし算のルール（きまり、法則）を守りさえすれば、どんな方法で計算しても、正しい1つの答えにたどりつきます。このようなことを積み重ねることで、だんだんと『筋道を立てて、正しく考える力』『ものごとを単純にして能率の良い方法を見つける力』が身につくのです。



【授業への取り組み方】

その日に出された課題をすべて解けるようになることが最終目標になりますが、1題でもいいので「自分だけの力で解けるようになる」ことが日々の目標になります。

数学の授業の基本スタイルは「例題→類題→発展」といった形式です。ですから

①先生の話を心で聞く。

②先生が話しているときは私語厳禁。

③板書をしっかりとる をすれば「類題」までは自分の力だけで解けるようになるはずです。

(持ち物について)

教科書・ワークは必須。ノートはファイルを使う先生もいます。担当の先生の指示を仰ぎましょう。定規・コンパスは必要に応じて使用しますが、常に準備しておきましょう。

【家庭学習の取り組み方】

STEP1 答を見ないで、その日に習った問題をもう一度やってみる（出来るかどうか確認）

STEP2 出来た問題はOKなどとチェックをしておき、テスト前に最終チェック。出来なかった問題は、その問題に関わる授業のまとめ、図や問題を写し、そして解答を色分けなどして写す。このとき出来なかった問題は絶対に消しゴムで消さない！

STEP3 間違えた問題に赤ペンでチェックしておく。

STEP4 次の内容に取りかかる。そして、その日の家庭学習する内容が全て終わったら、STEP3でチェックがついた問題をもう一度チャレンジしてみる（出来るようになるまでやる。何も見ないで出来たらOK）

【テスト勉強について（参考書や問題集を用いて勉強するとき）】

STEP1 答を見ないで、問題に取り組んでみる。（出来るかどうか確認）

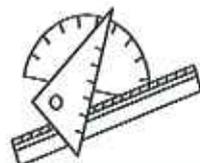
STEP2 出来た問題はOKなどとチェックをしておき、テスト前に最終チェック。出来なかった問題は、その問題に関わるまとめ、図や問題を写し、そして解答を色分けなどして写す。このとき出来なかった問題は絶対に消しゴムで消さない！

STEP3 間違えた問題に「レ」など赤ペンでチェックしておく。

STEP4 次の内容に取りかかる。そして、その日の家庭学習する内容が全て終わったら、STEP3で「レ」がついた問題をもう一度チャレンジしてみる（出来るようになるまでやる。何も見ないで出来たらOK）復習を特に充実させましょう。数学は反復練習が大切です！また、わからない所は必ずその日のうちか、次の日にでもすぐに聞くこと！絶対わからない部分をそのままにしないように！

【その他】

テストの日は先生の指示がなくても「コンパス・定規」は持ってきましょう。入試の時も同様です。（分度器はテストに持ち込むことが



理科

自然の中で生きる私たちは、自然に親しみ、自然現象にはたらいている法則や原理を知り、自分の五感を使って多くの情報を集め、それを総合的に考えることは生きていく上で大切です。

また、私たちが生活していくためには、「問題を発見する力」や「問題を解決する能力」が要求されます。それを身につけるためには、「科学的なものの見方や考え方」を培うことが必要です。

理科の学習では、自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養っていくことをねらいとしています。



【授業への取り組み方】

理科は考えることが大切な教科です。授業の中で、「なぜ?」「どうして?」という疑問を大切にしながら、学習を進めましょう。理科室を使う際には、安全に楽しく実験を行うために、しっかりとルールを守りましょう。授業の中では、ノートの代わりに授業プリント(ワークシート)を配布します。配られた授業プリントは、無くさないようにファイルに保管してください。

【家庭学習の取り組み方】

教科書や授業プリントを使って、学習した内容を振り返りましょう。学習内容を理解しているかどうか、ワークの問題に取り組みましょう。間違った問題については、答えだけでなく、考え方も確認すること。重要単語については、繰り返しノートに書くなどして確実に覚えましょう。

【テスト勉強への取り組み方】

基本的に授業で学習した内容が中心に出題されます。教科書や授業プリントを使って、どのような学習をしたか振り返りましょう。使用した実験器具の名前や使い方、正しい実験の手順や方法についても確認しましょう。ワークについては、1回で終わるのではなく、2回、3回と繰り返し取り組むことで、学習内容の定着を図ることができます。

【その他】

日常での家庭生活や自然などに興味をもち、学習した自然の事物・現象、法則や原理を意識しましょう。理科に関するテレビ番組やニュースを見たり、雑誌を読んだりして知識を豊かにしましょう。



英語

全世界の総人口は約74億人と言われています。英語を学習すると、そのうちの約三分の一に当たる21億人の人とコミュニケーションをとることができます。21億人の中には、様々な国の出身で様々な考えを持った人たちがたくさんいます。英語を学ぶ最大の目的は、そのような人たちと英語を使って交流することで、新しい発見をし、自分たちの考えをさらに深めていくことです。



【授業への取り組み方】

勉強ができるようになるためには、次の3つが必要です。

予習 ・ 授業 ・ 復習

授業の中では、次の4つの力を学んでいきます。

- ・ 読む力～英語の文章を読んで、書かれている内容を理解する力です。教科書の本文を中心にこの力を高めていきます。
- ・ 聞く力～英語を聞いて、内容を理解する力です。教科書の本文を聞いたり、リスニングの問題を解くことでこの力を高めていきます。
- ・ 話す力～場面に応じて、自分や身の周りのことを説明したり、自分の考えを相手に伝える力です。アルファベットや単語の正しい発音の仕方を意識し、様々な活動を通してこの力を高めていきます。
- ・ 書く力～習った文法事項を活用して、正しい英文を書く力です。まずは、アルファベットや単語を正しく書く力を身につけ、徐々に発展的な英文を書く力を高めていきます。

【家庭学習の取り組み方】

聞く力と話す力は授業の中で取り組むので、読む力と書く力を高める家庭学習を心がけてください。

予習～①教科書の文と新しい単語を書く。

②新しい単語の意味を調べる。

③教科書の文を読んでみる。

復習～①教科書の文を暗記するぐらい読む。

②単語や文を何も見なくても書けるように練習する。

⇒予習、復習の中で分からないところはどんどん先生に聞く。



【テスト勉強への取り組み方】

基本的には授業で習ったところから出題します。毎回の授業をしっかりと聞いて、理解しておくことが大切です。また、ワークの問題を何度も解いて、分からない（書けない）ところをなくしておきましょう。そのためには、ワークを解いて、自分で丸付けをするときに、分からなかった問題にチェックをつけておくことをお勧めします。分からない問題をチェックして、何度も解きなおしをすると、理解が深まっていきます。

【その他】

英語の授業だけではなく、英語の力をつけるためにはこんな方法も有効です。

- ・ テレビやラジオの英会話講座（番組）を定期的に継続して見る（聞く）。
- ・ 簡単な英語の絵本や小説を読んでみる。
- ・ 毎日の日記を、簡単な英語で書いてみる。



家庭学習を大切にしましょう

各学年の取組

<全学年毎日「宿題」と「白学」を実施しています。毎日提出します。>

【宿題】毎日担任から出される個別プリントや音読カード、ノート（下校までに問題を書かせる。）等、必ず取り組ませる。

宿題が出ない時に勉強しない子が…、これでは習慣にならないな。

【自主学習】低学年は、学習内容を担任が指示することもあるが、高学年では、メニュー表を与え、そこから自分で選択して学習する。将来的には、自分に必要な学習を自分で選択して行えるようにする。



家庭学習のねらい

学習習慣の定着

学年×10分+10分

◆「自主学習」で定着をめざします [学年×10分]

○自分から進んで、継続的に学習に取り組もうとする姿勢を育てます。



学習内容の定着

◆「宿題」で学習内容の定着をめざします [+10分]

○授業の充実のために、反復学習を中心に、学習内容の定着化をはかります。担任が見て復習や反復練習が必要と判断したものが宿題となります。

★例 ドリルの問題番号を指示(宿題) → やる気のある子は他の問題にも挑戦(自主)

学習方法の定着

◆「授業の中で指導」したり、「学習メニュー」を活用して学習方法を身につけます

ご家庭では……

○学習を始める前にテレビやゲームのスイッチを切りましょう。

○勉強する場の整理整頓をさせましょう。

○家庭学習をするときはできるだけ近くにいてあげましょう。

○学習を始めたら、立ち歩かせず、終わるまでがんばらせましょう。

